

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成30年3月8日 (2018.3.8)

【公開番号】特開2017-105265(P2017-105265A)

【公開日】平成29年6月15日 (2017.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2017-022

【出願番号】特願2015-238987(P2015-238987)

【国際特許分類】

B 6 0 W 10/26 (2006.01)

B 6 0 W 20/00 (2016.01)

B 6 0 W 10/08 (2006.01)

B 6 0 W 10/06 (2006.01)

B 6 0 K 6/48 (2007.10)

B 6 0 K 6/547 (2007.10)

B 6 0 L 11/14 (2006.01)

B 6 0 L 7/14 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 K 6/20 3 3 0

B 6 0 K 6/20 3 2 0

B 6 0 K 6/20 3 1 0

B 6 0 K 6/48 Z H V

B 6 0 K 6/547

B 6 0 L 11/14

B 6 0 L 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月18日 (2018.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

車両の動力源となるエンジン (1 1) 及びモータジェネレータ (1 2 , 1 3) と、該モータジェネレータと電力を授受するバッテリー (2 0) とを備え、前記車両を制動する際に前記モータジェネレータで回生発電した電力 (以下「回生電力」という) を前記バッテリーに充電する車両の制御装置において、

前記車両の走行予定経路における道路勾配及び車速の予測結果に基づいて前記走行予定経路における前記バッテリーの残容量を表す SOC を予測する SOC 予測部 (3 9) と、

前記 SOC 予測部で予測した SOC に基づいて前記バッテリーが前記回生電力を充電できない飽和状態になると判定した場合に、前記バッテリーが前記飽和状態にならないように予め前記バッテリーの放電量を増加させる放電増加制御を実行する放電制御部 (3 9) とを備え、

前記放電制御部は、前記放電増加制御として、前記エンジンの動力と前記モータジェネレータの動力の両方で前記車両を走行させるアシスト走行で前記バッテリーの放電量を増加させるアシスト放電増加制御を実施する機能と、前記車両の駆動力を制限すると共に当該制限の後の当該駆動力に応じて車速を低減して前記モータジェネレータの動力のみで前記車両を走行させる E V 走行の機会を増加させることで前記バッテリーの放電量を増加させる E V 放電増加制御を実施する機能とを有し、前記 E V 放電増加制御を実施可能な場合には

、前記アシスト放電増加制御よりも前記ＥＶ放電増加制御を優先して実施する車両の制御装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記課題を解決するために、本発明は、車両の動力源となるエンジン（１１）及びモータジェネレータ（１２，１３）と、該モータジェネレータと電力を授受するバッテリー（２０）とを備え、車両を制動する際にモータジェネレータで回生発電した電力（以下「回生電力」という）をバッテリーに充電する車両の制御装置において、車両の走行予定経路における道路勾配及び车速の予測結果に基づいて走行予定経路におけるバッテリーの残容量を表すＳＯＣを予測するＳＯＣ予測部（３９）と、このＳＯＣ予測部で予測したＳＯＣに基づいてバッテリーが回生電力を充電できない飽和状態になると判定した場合に、バッテリーが飽和状態にならないように予めバッテリーの放電量を増加させる放電増加制御を実行する放電制御部（３９）とを備え、この放電制御部は、放電増加制御として、エンジンの動力とモータジェネレータの動力の両方で車両を走行させるアシスト走行でバッテリーの放電量を増加させるアシスト放電増加制御を実施する機能と、前記車両の駆動力を制限すると共に当該制限の後の当該駆動力に応じて车速を低減してモータジェネレータの動力のみで車両を走行させるＥＶ走行の機会を増加させることでバッテリーの放電量を増加させるＥＶ放電増加制御を実施する機能とを有し、ＥＶ放電増加制御を実施可能な場合には、アシスト放電増加制御よりもＥＶ放電増加制御を優先して実施する構成としたものである。